

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺での 越前市版スマートシティ形成に向けた官民連携(PPP)プロジェクト

お問い合わせ
戸田建設(株)大阪支店 越前たけふ駅周辺まちづくりPJ室
担当:木内 TEL:06-6531-5022
※本資料の内容は2021年10月現在のものであり、今後計画が変更になる可能性があります
※無断転載を禁じます

事業の経緯と計画地及び越前市の選択

越前市は、2024年(令和6年)春に開業予定の北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺における、官民連携(PPP)プロジェクトによるまちづくりを行うためのパートナー企業(民間開発事業者)を公募し、戸田建設株式会社を選定。



越前市の概要

- ・福井県のほぼ中央に位置し、市の中央を北陸自動車道と国道8号が縦断
- ・人口約8万人、面積約230km²
- ・奈良時代に越前国の国府が置かれた歴史ある市
- ・越前和紙、越前打刃物、越前草笄が国の伝統的工芸品として登録
- ・製造品出荷額等は県内1位、北陸2位のモノづくり都市

計画地の概要

- ・北陸新幹線「越前たけふ駅」の周辺約100haのエリア
- ・既存の交通結節点であるJR「武生駅」から東へ約2.7kmに位置
- ・主要幹線道路である国道8号線や、北陸自動車道「武生IC」に面する
- ・現況は大部分が農地(水田)

事業コンセプト



Echizen-Takefu Innovation Valley

越前市の歴史や伝統、豊かな自然環境や文化を活かし、様々なイノベーションを生み出す機能や仕組みにより一人ひとりが快適に働き、暮らし続けられる、社会の変化に対応できる持続可能なまち



まちづくりコンセプトの具現化に向けた考え方

地域の歴史・伝統・自然・文化を活かしつつ、イノベーションを生み出す仕掛けづくり

1

産業

グローバル企業が求める
先進スマートシティ関連
技術基盤の実装

RE100

都市機能の脱炭素化に向けた
マイクログリッド整備

5G/6G

様々なデータ活用によりスマートな
サービスを提供可能なネットワークインフラ整備

MaaS

地域内外の移動を支える
スマートなモビリティ整備

2

まち

立地環境や交通アクセスを
最大限に活かした
ゾーニングや導入機能

先端産業

製造企業のグローバルな生産・供給体制を
牽引するマザー工場やR&Dセンター等を想定

交流拠点

暮らしを支える生活インフラとしての商業施設、
多様なイベントを開催できる集会施設等を想定

スマート農業

周辺の農地との調和や相乗効果を
生み出す植物工場等を想定

3

ひと

イノベーションを生みだす
地域資源を活用した
戦略的コミュニティの創出

越前たけふ
オープンイノベーションセンター

「モノづくり×先端テクノロジー×環境・エネルギー領域」を軸に
地域内外の主体が集い、交流し、実証実験や新たなビジネスを生み出す
コラボレーションスペースを兼ね備えたICTオフィス

オープンイノベーションの推進に向けて

持続的な地域の発展を支えるオープンイノベーションの仕組みづくりのトライアルイベントとして、先進的な技術やノウハウを持つスタートアップ企業と連携した「地域・社会課題解決アイデア共創コンテスト」を2022年6～8月に実施。受賞企業とは、今後の実証や協業を継続的に検討。

- ・最優秀賞: scheme verge (株)
事業アイデア「エリア活性化プラットフォームを活用した地元生活と観光体験のグリーンな統合管理」
- ・優秀賞: ZuttoRide Sharing (株)
事業アイデア「スポーツバイクとE-bikeによる便利かつカーボンニュートラルな移動手段」
- ・優秀賞: (株)Will Smart
事業アイデア「地域社会におけるマイクロモビリティの実現」

企業立地に向けて

越前市の概要/アクセス

北陸新幹線の2024年春 金沢～敦賀開業、中部縦貫自動車道の2026年春に全線開通により、首都圏や中央圏とのアクセスが大きく向上します。

越前市の概要

人口 81,729人 (2022年5月1日現在)
※外国人比率 6.3%

製造品出荷額等が県内第1位(北陸第2位)を誇る「モノづくりのまち」。先端産業から伝統産業まで、多様なモノづくり企業が立地しています。



主要拠点へのアクセス

鉄道	所要時間 (新幹線 敦賀延伸後)
⇨ 京都	1:12
⇨ 大阪	1:36
⇨ 名古屋	1:24
⇨ 東京	3:11

自動車	距離
⇨ 京都	170km
⇨ 大阪	210km
⇨ 名古屋	150km
⇨ 小松空港	70km
⇨ 中部国際空港	190km
⇨ 敦賀港	40km

企業立地環境

地理的環境

【アクセス】

- ・ 敦賀港や小松空港に1時間以内にアクセス可能。
- ・ 北陸・関西・中京エリアとの良好なアクセス。さらに首都圏・北信越エリアを加えたネットワークの強化により、東海道ルートへの代替補完機能も発揮されるため、事業の多軸化にも貢献します。

【災害リスク】

- ・ 地震や津波については、日本海側は太平洋側と比べて発生確率が低いと評価されています。
(大きな津波の原因となる海溝型プレートがないといわれている)
- ・ 降雪量は年々減少傾向にあるほか、除雪体制の強化など、企業活動への影響を低減する対策を講じています。

企業立地支援体制

【設備投資への支援】

- ・ 新規立地をはじめ、設備投資に対して市・県が連携して補助金等を交付。制度内容は国内トップクラスです。
- 【例】
企業立地促進補助金/越前市:最大5億円 県:最大10億円
電気代支援(F補助金)/最大8年間補助
固定資産税等の不均一課税/最大3年間軽減

【サポート体制】

- ・ 企業活動に対して、周辺の学術機関・支援機関と連携したサポートを受けることができます。
- 【主な学術機関】 越前市:仁愛大学 鯖江市:福井高専 福井市:福井大学、福井工業大学 永平寺町:福井県立大学
- 【主な支援機関】 鯖江市:デザインセンターふくい 坂井市:県工業技術センター(22年 産総研開設予定) 永平寺町:県産業支援センター 敦賀市:若狭湾エネルギー研究センター

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺整備について

新幹線駅・IC・国道8号が、1km圏内に集積する「交通結節点」の特徴を生かし、国内外から企業・人材が集う、高次機能の集積を目指します

立地や検討される企業様に対して、立地に必要な土地情報の提供、立地エリアの調整、地元や関係団体との調整など、様々なサポートを提供します。

■現況周辺図

現況 農業振興地域(都市計画区域 編入予定)



駅周辺整備の方向性

- 【短期・中期で誘致を目指す産業等】
先端の研究施設/ホテル、飲食施設等/
商業施設/「食と農」関連施設
園芸施設、植物工場、農業6次化施設など)
- 次世代交流拠点
学術研究・人材育成拠点 公共整備も検討)